

# 一 般 質 問 通 告 事 項

(令和3年第1回白岡市議会定例会)

第1通告者

17番 石原富子 議員

## 1 コロナ対策について

第2弾の緊急事態宣言も出されたが、依然として感染拡大が止まらない。今後の市としての対策を伺う。

### (1) 市内に対する情報提供として

ア 市民に対する注意喚起は。

イ 感染者に関する情報提供

ウ 学校の感染防止策について

エ コロナ対策室を設けるべきではないか。

### (2) 保健所・医師会との連携はどのようにとっているか。

### (3) 市内介護施設の感染防止策について

### (4) 市内の病院の医療体制の現況はどうか。

一般の治療とコロナ対策の現状はどうか。

### (5) ワクチン接種について

準備状況と課題は。

### (6) コロナ対策に対する市長の意気込み

## 2 新規採用職員の採用と研修について

4月には新規採用職員が入職するが、うまく定着を図っていくためにも、これまでの採用と研修制度を見直す必要があるのではないか。

### (1) 直近5年間の採用状況は。

定着率はどうか。

### (2) 現在行われている研修について

現状と課題を伺う。

### (3) 定着を図るために、メンター制度を取り入れてはどうか。

第2通告者

15番 遠藤 誠 議員

## 1 駅自由通路の掲示板について

### (1) 市民のため役に立つ情報を掲示するべきではないか。

- (2) 掲示板の管理方法を考え、きれいな状態を。
- 2 教育委員会定例会における就学すべき学校の指定変更等について
  - (1) 就学すべき学校の指定変更は1月は35件だが、理由別の件数は。年間の件数と理由別は。
  - (2) 区域外就学は12件、就学すべき学校の指定変更は35件、小学校入学予定者に対する新入学児童生徒学用品等入学前支給認定は19件、合わせて66件はどう報告されているのか。
  - (3) 個人情報が含まれてるとはいえ、報告の状況によっては傍聴を退出させる必要はあるのか。
- 3 教育委員会定例会における議会の状況報告について  
委員は、会議録や録画を見ているのか。
- 4 教育委員会点検評価のうち委員会の傍聴について
  - (1) ここ10年傍聴は増えていないが、これでいいのか。
  - (2) 傍聴を増やす努力は何をしたか。
  - (3) 増やすとしたら一番は保護者が対象ではないのか。
- 5 休耕田に対する空き地の環境保全に関する条例の適用について  
管理されていない休耕田への条例の適用は考えているのか。考えているとすれば時期はいかがか。

### 第3 通告者

9 番 菱 沼 あゆ美 議員

- 1 避難支援について
  - (1) 避難所が混雑した場合、避難者がたらい回しにならないように、避難所の空き状況・混雑状況の情報を提供してはどうか。
  - (2) 風水害時、やむなく車中泊を選択した場合の一時避難ができる駐車場を指定しては。
  - (3) 避難所では、アレルギー疾患の方の対応については配慮が必要である。備蓄品の現状や今後の取組などを伺う。
- 2 多様な人が参画できるまちづくりについて
  - (1) 行政区においても、男女共同参画を推進していくべきと考える。現状と今後の取組などを伺う。
  - (2) 若者会議や女性会議など、まちづくりのヒントや案を提供しても

らう多様な人の参画ができるような場を設け、継続的な人材発掘や育成をしていけないか。

(3) 市民がまちづくりに興味を持てるような、アピールが必要ではないか。分かりやすく見える化した形で取り組んではどうか。

### 3 日常生活用具給付等事業の拡充について

(1) 夜盲症を伴う網膜色素変性症（難病）などの当事者数は。支援として暗所視支援眼鏡を品目に加えてはどうか。

(2) 人工呼吸器を使用している当事者数は。停電や災害時には命にかかわる。発動発電機人工呼吸器外部バッテリーを品目に加えてはどうか。

## 第4 通告者

1 番 石 渡 征 浩 議員

1 「参画と協働のまちづくりに向けて今後取り組むべきこと」について

(1) 現状認識について

参画と協働の現在の進捗状況と課題をどう捉えているか。

(2) 協働の実効性を高めるために、どうすべきか。

ア 審議会などの会議の目的及び期待する成果物とは具体的に何か。

イ 会議の目的、期待する成果物に加え、運営方法、事務局・会長・各委員それぞれの役割を具体的にまとめ、任期スタート時点で、その内容について、全委員を対象にレクチャーすべきではないか。

ウ 審議会などの会議は、開くタイミングが重要。まさに、物事を決めようとする意志決定の局面に位置付けることが必要なのでは。

エ いくつかの審議会では、世間一般で言う「学識経験者」ではないケースが多々見られる。真の「学識経験者」を探し出す必要がある。その必要性に対する考え方及び探す場合の具体的なやり方について伺う。

(3) 参画を促すためには、何が必要か。

ア 市民参画条例第7条の文言「原則として、公募により選考される市民を含めるものとする」の「含める」を「中心に運営する」に改正する必要がある。また、公募委員の割合は、50%以上を

目指すべきと考えるが、見解を伺う。

イ 参画と協働のまちづくりサポーター登録制度の登録者が、市民参画の手続きにそれぞれ何人参画したか、その実績を必要最低限の基礎データとして把握すべき。

ウ 参画と協働のまちづくりサポーター登録制度の登録者を増やすために、幅広い市民と市の課題や施策について、話し合う機会を設けてみては。

エ 幅広い市民に参画してもらうために、公募の際のハードルを下げる試みが必要ではないか。

オ 都市計画審議会は、学識経験者及び行政区長の枠を減らし、公募枠を増やす必要があると考えるが。

カ 各団体からの推薦委員は、顔ぶれが同じケースが多い。幅広い市民の参画という観点から、何らかの対策が必要ではないか。

#### (4) 市民ニーズの把握に向けた取組について

ア 将来の公共交通のあるべき姿を検討する必要がある。その第1段階として、市民ニーズや困りごとの把握を目的に、現在の地域公共交通会議とは別に、市民とざっくばらんに話し合う機会を設けたらどうか。

イ 白岡中学校周辺区域の開発は、振出しに戻った。大型商業施設は出店しないという前提で、必要な施設について、市民アンケートを取り直す必要がある。また、そのアンケートをもとに、市民とざっくばらんに話し合う機会を設けたらどうか。

#### (5) その他の見直しについて

ア 市民参画条例第4条には、パブリックコメント、審議会等など市民参画のための手続が5つ程挙げられているが、どういう場合にどういう手続を適応させるのかの基準が不明確。基準又は指針を設定すべきではないか。

イ パブリックコメントは、応募のハードルが高い。また、応募件数も少ない。実施する場合は、他の4つの市民参画の手続きの内、いずれかと組み合わせることを前提条件にしたらどうか。

ウ 一部の審議会の設置要綱には、委員構成の中に「その他市長が必要と認める者」とあるが、基準が曖昧。この枠を設定した背景、理由は何か。

第5 通告者

6 番 関 口 昌 男 議員

1 国民健康保険制度の課題について

- (1) 国民健康保険の現状と課題について
- (2) 最近の国の論議の問題について
- (3) これを機会に市でも思い切った改善を。
- (4) 市長の決意を伺う。

2 コロナ禍における市民の生活防衛の制度について

- (1) 生活保護をめぐる国会論議と市の生活保護運用の実態について
- (2) 生活保護をめぐる国会の論議について
- (3) 生活福祉資金貸付制度の現在
- (4) 生活福祉資金貸付制度の利用手続きについて
- (5) 外国人にも利用できる生活福祉資金貸付制度の周知について
- (6) 今後の課題について

第6 通告者

2 番 中 村 匡 志 議員

1 新市長の公約⑪「“駅前子どもステーション（仮称）”の開設による保護者の保育園送迎負担軽減」について

- (1) どのような仕組みか。
- (2) 必要となる予算はいくらか。
- (3) 実現に向けてのロードマップ（行程表）を示されたい。

2 新市長の公約⑫「おむつの無料配布」について

- (1) ベビーベッドの無料貸出しはやめるのか。それとも、並行して行うのか。
- (2) 「期間を限定」とのことだが、何歳何か月までの期間か。
- (3) 市が直接支給するのか。それともクーポン券等の配布による間接支給か。
- (4) いつから導入するのか。実現に向けてのロードマップを示されたい。

3 新市長の公約⑬「“放課後子ども教室”の全小学校への配置」について

- (1) 学童保育と「連携・一体」とのことだが、学童保育から“放課後子ども教室”への移行（実質的な学童保育の廃止）を目指す趣旨か。それとも、両者を併存させて一体的に運用する趣旨か。
- (2) 学童保育が児童福祉法第6条の3第2項に定めのある正規の制度であるのに対し、“放課後子ども教室”は法律上位置づけのない制度である。この違いにより安全管理、サービスの質・量、対価等の面で必然的に両者の間に差異が発生することに鑑みれば、廃止的移行や一体的運用に問題はないのか。
- (3) 実現に向けてのロードマップを示されたい。

4 新市長の公約⑭「全児童生徒の給食費無償化」について

- (1) 必要となる予算はいくらか。それはどこから捻出するのか。
- (2) 実現に向けてのロードマップを示されたい。

5 新市長の公約⑮「転入者への一定期間住民税軽減」について

- (1) 具体的には、いかなる法的根拠に基づくいかなる制度を構想しているのか。
- (2) 見込まれる歳入の減収額はいくらか。
- (3) いつから導入するのか。

6 農地における犯罪とその対策について

- (1) 現状についての認識を問う。被害状況・検挙状況は。
- (2) 原因と対策は。ライトやカメラの設置は検討するのか。
- (3) 犯罪被害者には何らの落ち度もなく救済すべきことは明らかであり、犯罪被害者等支援条例案に相当する制度を構築すべきではないか。

7 新市長の増税方針の有無についてあらためて答弁を求める

昨年12月議会の一般質問において、「小島前市長は単独市制施行の際の約束“絶対に増税しない”を8年間守り通されたが、小島市政を再三にわたり批判してきた藤井市長は増税へと舵を切るのか」という再質問について3度市長答弁を求めたが市長答弁がなかった。通告の

上、あらためて市長答弁を求める。

8 新市長の公約③「新白岡の葬儀場建設中止」について（続き）

市長は新白岡葬儀場の開発許可を撤回するのか。する場合には、いつか。

第7 通告者

12番 中川幸廣 議員

1 産後ドゥーラの現状と今後について伺う

現在の出産という女性にとり大事なことが、以前は出産は「里帰り」をして出産であったのが、現在は里帰りをしないで出産なさる方が多いと思う。そのような点では出産以前も出産後も育児相談や身の回りの支援などを行っていただける「産後ドゥーラ」が注目されている。

- (1) 市内では「産後ドゥーラ」を擁する「事業所」があるのか。
- (2) 市内に「産後ドゥーラ」はいるのか。
- (3) 行政として、「産後ドゥーラの育成」や「事業所の育成」更には産後ドゥーラの利用サービス事業の考えはないか。

2 インクルーシブ公園の開設を

子どもの時から、子どもが自由闊達に遊べる「公園」を通じて障がいのある子どもも無い子どもも、また大人も子どもも互いに遊べる「インクルーシブ公園」を造設し、障がいのある子どもが外へ出て遊べる環境と機会を作るべきと考える。

- (1) 市内には障がいを持つ子が何人いるのか。
- (2) その子どもたちが「遊ぶ」ことの調査などは行っているのか。
- (3) 既存の公園を改良し、インクルーシブ公園にできないか。せめて市内に2箇所位はできないか。

第8 通告者

3番 野々口 眞由美 議員

1 高齢者の足として、普及しつつあるシニアカー利用者についての現状と今後について

- (1) 当市におけるシニアカー利用者の人数など現状把握について
- (2) 正しい知識と理解を得るには。
- (3) 利用者増を想定し、シニアカー登録制度の検討を。

2 街づくりと住民参画について

- (1) 白岡ニュータウン葬儀場建設問題のこれまでの検証と、今後、白岡市は何を目指すべきか。
  - (2) 市民主体の街づくりを推進し、地域の特性を生かした魅力ある街づくりのためには。
- 3 児童虐待の現状と今後の取組について
- (1) 虐待件数と内容（要保護児童、要支援児童、特定妊婦、一時保護）とコロナ禍における影響について
  - (2) 孤立させない、切れ目のない支援が必要であるが、妊娠期における相談体制と実績、産後ケアについての現状は。
  - (3) 虐待者及び虐待を受けた子どもへの心理的ケアは。
  - (4) 虐待を防ぐための、今後の具体的な取組は。

第9 通告者

13番 細井 公 議員

1 市内商業者への経済支援策について

新型コロナウイルス感染症を封じ込めることは重要であると理解しているが、他方で経済活動の維持も地方社会において生活を支える上で重要な位置を占めるものと考えます。

このような状況の中で市として多様な事業者の継続のための支援を実施をする予定はないか伺う。

第10 通告者

8番 中山 廣子 議員

1 子ども連れの方に親しまれる庁舎について

子どもと一緒に市役所に来庁された方が、休息や窓口の待ち時間に子どもと共に利用することができる、キッズコーナーを設置してはいいかがか。

2 3歳児健康診査における視力検査について

- (1) 現在の3歳児健康診査の視力検査の方法を伺う。
- (2) 受診者数と精密検査の対象になった人数の直近3か年の推移と、見落としは起きていないか伺う。
- (3) 屈折異常検査の重要性について保護者への周知や啓発はどのようにされているか伺う。
- (4) 3歳児健康診査において、視覚機能検査機器フォトスクリーナー



を導入してはどうか。

### 3 おくやみコーナー設置について

- (1) 死亡者数の直近3か年の推移を伺う。
- (2) 死亡に伴う手続の申請書は何種類か。また、提出窓口はいくつか。
- (3) 「おくやみハンドブック」を作成してはどうか。
- (4) 政府も「おくやみコーナー」の設置推進に乗り出している。本市でも「おくやみコーナー」の設置を考えてはどうか。

#### 第11 通告者

11番 加藤 一生 議員

##### 1 市内の公園・広場の維持管理について

現在のコロナ禍の中の市内の公園・広場の維持管理状況について

- (1) ふれあいの森公園のトイレの漏水対策はどうなっているか。
- (2) 総合運動公園の多目的広場のトイレのある場所に近い入口が、以前に雨降り後等に水たまりとなり、道具の搬入時に苦労した。現在はどうか。

##### 2 市庁舎内の新型コロナウイルス感染症予防対策の状況について

新型コロナウイルス感染症が発生・流行して1年余りとなる。

- (1) 市としては、今日までどういう対策を講じてきたのか。
- (2) 現在、ワクチンが開発され、間もなく、市民への接種も始められようという状況にまでなっているが、この状況下で、市は、今後どのような対策を打っていこうとしているのか。
- (3) 一方、今、1階においては、確定申告の真っ最中であり、市民の庁舎内への出入りが激しくなっている。この状況下、市として、改めて市民に伝えておくことはないか。

#### 第12 通告者

5番 山崎 巨裕 議員

##### 1 市独自のPCR検査実施の可能性について

- (1) 市内の感染者が出た施設については、その職員を対象に定期的なPCR検査を実施してはいかがか。
- (2) 市の保育施設の職員を対象にPCR検査を実施してはいかがか。
- (3) 医療従事者をはじめ、感染状況が深刻な地域の介護・福祉施設従事者、保育園（所）・幼稚園、学校職員、学童クラブ従事者などにお

ける感染拡大を未然に防ぐため、当該事業所職員等全員の定期的な社会的検査を行うことを国や県に要望していただきたいが、いかがか。

(4) 施設感染防止のために、一人でも感染者が出た場合、濃厚接触者に限定せず、迅速にその集団のPCR検査を実施することを国・県に働きかけていただきたいが、いかがか。

## 2 少人数学級の今後の見通しについて

- (1) 市内の「小学校35人学級」実現の具体的見通しを伺う。
- (2) 中学校は現状の40人学級でよいのか、見解を伺う。
- (3) 少人数学級に向け引き続き国や県に働きかけていただきたいが、いかがか。

## 3 広報しらおか等の配布体制について

- (1) 白岡市の現在の世帯数と広報しらおか等の配布数とその差を伺う。
- (2) 白岡市の全世帯に広報しらおか等を届ける手立てを取っていただきたいが、いかがか。

## 第13通告者

4番 齋藤信治 議員

### 1 「スマホ脳」への対策は

Covid-19のために自宅にこもることが多くなり、スマホをいじる時間が増えたと思われる。便利なものだが、スマホが脳の発達を阻害することが報告されてる。発達段階にある子どもたちに対して特に大きな影響がある。

- (1) 乳幼児に対する対策は。
- (2) 学齢期の子どもたちに対する対策は。

### 2 気候変動（地球温暖化）への対応は

地球温暖化による気候変動への対策として、RE100を宣言している企業が増えている。国際ビジネスの世界では必須事項と言える状態である。RE100を簡単に実現できる環境があれば企業誘致にも有利になると思われる。

- (1) 市内公共施設における太陽光発電の状況はいかがか。
- (2) 一般市民における太陽光発電の実態は把握しているか。

- (3) R E 1 0 0 を実現できる環境を作れないか。
- (4) 太陽光発電としてソーラーシェアリングを推進できないか。
- (5) 第 6 次総合振興計画で、R E 1 0 0 を目指さないか。

第 1 4 通告者 1 0 番 渡 辺 聡一郎 議員

1 新型コロナのワクチン接種と高齢者の支援について

- (1) 病院や診療所での接種体制、ワクチン配送・管理の課題について伺う。
- (2) 集団接種の体制整備やシミュレーションはできているか。医師等の確保も含めて伺う。
- (3) 高齢者福祉施設等の接種体制について伺う。施設職員へのワクチン接種の考え方は。
- (4) 高齢者等への P C R 検査の補助を実施できないか。

2 企業誘致による財政基盤の確立と産業振興の取組について

- (1) 市長が公約に掲げる財政基盤の確立には企業誘致が必要と考えるが、どのように取り組んでいくのか、市の方針を伺う。
- (2) 開発型だけでなく遊休不動産等の活用を進められないか。空き店舗や空き地等の事業者への情報提供の取組について伺う。
- (3) 都市計画道路白岡宮代線の開通に合わせて東北道東側地域の振興も図っていくべきと考える。春日部菖蒲線の商業サービス誘導地域への企業誘致の現状は。
- (4) 企業誘致のサポートやアフターフォローを更に充実させていくべきではないか。また企業へのアプローチには幅広いネットワーク構築と情報収集が必要と考えるが、市の取組を伺う。
- (5) 市長のトップセールス・営業活動が必要と考える。今後の目標や取組について伺う。

第 1 5 通告者 1 4 番 大 島 勉 議員

1 災害時の情報伝達について

- (1) 現状の課題について
- (2) 市民により早く確実に伝える方策は。
- (3) 今後の情報提供の在り方について

## 2 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

- (1) 今回第3次となるが、市の計画は。
- (2) 活用方針について
- (3) 市長の考えは。

### 第16 通告者

16番 黒 須 大 一 郎 議 員

#### 1 地域消防力と白岡消防署篠津分署の統合再編について

- (1) 令和4年4月に篠津分署が白岡消防署と統合再編となる計画がある。消防力、救急体制、財政負担等はどのようになるのか。
- (2) 白岡消防署庁舎・訓練塔は築45年にこの4月になる。組合の総合管理計画をみても管内で古く、大規模改修時期を15年過ぎている。そこで、大規模改修又は建替えまで統合再編を延ばすべきで、その後は市民防災・活動ステーションに。
- (3) 広域化での地域防災力の要は地元消防団である。老朽化している第1・7分団小屋の大規模改修又は建替えは、進んでいるのか。
- (4) 消防団車両の運転には、準中型免許以上が必要、取得補助を。  
※平成29年3月施行改正道路交通法により普通免許で運転できる車両が5トン未満から3.5トン未満に

#### 2 シティプロモーション戦略は順調に進んでいるのか

- (1) 短期計画及び中期計画の総括（目標値、成果、課題等）は。
- (2) 計画的なトップセールスの進捗とシティプロモーション戦略は体系的アプローチによって市のブランド確立に向かっているのか。
- (3) 2021年からの長期計画はどうか。※企業進出の進展云々。

#### 3 地元経済をどうするの

- (1) 内閣府は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（感染症対応分64,628千円、地域経済対応分96,639千円）161,267千円を交付限度額として市へ追加予定すると聞く。市独自の地域経済応援策は。
- (2) 市外大企業体も市商工会員と聞く。産業団地の未加入主要企業が、連帯協力したくなる地域経済応援策を打ち出せ。
- (3) 令和3年度の白岡まつり等のイベントはどうか。

4 マイナンバーカードの利活用の展望（構想）は

(1) マイナンバーカードの交付状況は。

コロナ禍の今と今後を見据え、市民課窓口の混雑状況の配信を。

(2) マイナンバーカードの利活用の展望（構想）は。

5 友好都市協定締結から半年、現在の状況と今後は

(1) 『草の根交流』と『市民交流が活発にできる仕組み』は、どのようになっているのか。 ※平成27年3月の一般質問答弁より

(2) さらなる友好都市との交流等を深める今後の展開（策）は。

第17通告者

7番 松本栄一 議員

1 小学5・6年の教科別担任制の2022年度導入について

(1) 中教審では、小学5・6年で専門の教員が教える教科別担任制を理科と算数、英語を例示し文部科学省に答申したが、本市における教科別担任制の現状は。

(2) 県内では、2020年度から川越市、新座市、深谷市、久喜市の市立小学校4校が実践モデル校として導入しているが、本市の検討状況は。

2 防災行政無線の活用について

(1) 防災行政無線をデジタル化して、市の広報や注意喚起、警察からの発信情報など、幅広く発信して活用しているが、利点の検証や不具合の改善、苦情対応など、どのように行っているのか。

(2) 台風時や強風時には、屋外スピーカーでは「良く聞こえない」との声も多く、特に高齢者世帯やひとり親世帯などには、必要な情報が多いと思われる。市では、新型コロナウイルス対応の交付金を活用して戸別受信機の整備を予定しているようだが、どのような活用方法を考えているのか。